GT78-VJ

Rugged Android™ Handheld Device

ユーザーズマニュアル

Version 1.0

2019.03.

This page is intentionally left blank.

更新履歴

バージョン	リリース	更新内容
1.0	2017.3.1	初版

著作権

Copyright © 2019 AIMEX Corporation All Rights Reserved.

この文書は著作権によって保護された専有情報を含みます。製造元の書面による事前承諾なく、このマニュアルの一部をいかなる機械的、電子的、またはその他の方法で複製することを禁じます。

免責事項

この文書に記載されている情報は信頼性、設計および機能を改善するために予告なしに変更されることがあります。製造者側の責任を表すものではありません。
いかなる場合であっても、製造者は、製品または文書の使用または使用不能から生じる直接的、間接的、特殊、付随的、または必然的な損害について、たとえそのような損害の可能性があるとしても助言いたしかねます。

本マニュアルに関して

このユーザーマニュアルには、製品の一般情報とインストール方法が記載されています。このマニュアルは、パーソナルコンピュータのハードウェア知識を持つ経験豊富なユーザーおよびインテグレータを対象としています。このマニュアルの説明がわからない場合は、さらに取り扱う前にベンダーにお問い合わせください。
将来必要なメンテナンスのためのクイックリファレンスとして、このマニュアルを 1 部保管しておくことをお勧めします。

目次

はじめに v
適合宣言 v
CE について v
FCC Class B v
RoHS..... vi
VCCI vi
SVHC / REACH vi
セーフティ・シンボル vii
安全に関する重要注意事項..... vii
レーザーの安全性 ix
充電式バッテリーパックの安全性..... ix
基本的なお手入れ方法 xi
クリーニングツール xi
推奨クリーニング手順..... xii
機器の廃棄について xii
追加情報およびテクニカルサポート xiii
保証について xiii

Chapter 1 Introduction..... 1
1.1 製品概要..... 2
1.2 パッケージ内容..... 2
1.3 各部の名称..... 4
1.4 外形寸法..... 5
1.5 仕様 6

Chapter 2 Getting Started 9
2.1 microSD カードと SIM カードの取付 10
2.2 バッテリー交換..... 11
2.2.1 バッテリー充電..... 11
2.2.2 バッテリー残量を確認する 12
2.3 バッテリーを入れる/交換する..... 12
2.3.1 バッテリー蓋の開け方 12
2.3.2 バッテリーを取り付け..... 13
2.4 バッテリー寿命の最適化 15

Chapter 3 Using the Rugged Handheld Deivce 17
3.1 タッチスクリーンを使う 18
3.1.1 基本操作 18
3.1.2 テキスト入力 19
3.1.3 スリープモード 19
3.2 ホーム画面 20
3.2.1 クイック設定パネルを使用する 22
3.2.2 ホーム画面を拡張する 22
3.3 携帯電話ネットワークの使用 23
3.3.1 電話をかける/受ける 24
3.3.2 データの接続 24
3.3.3 データローミング 25
3.4 Wi-Fi 機能を使う 26
3.4.1 Wi-Fi を有効にして WLAN に接続する 27
3.4.2 Wi-Fi ネットワークを追加する 27
3.4.3 WPS で Wi-Fi ネットワークに接続する 28
3.4.4 Wi-Fi ネットワークを削除する 30
3.4.5 本体を Wi-Fi ホットスポットにする（テザリング） 30
3.5 Bluetooth 機能を使う 31
3.5.1 Bluetooth を有効にして Bluetooth デバイスとペアリングする 32
3.5.2 使用する Bluetooth 機能の設定 33
3.5.3 Bluetooth デバイスから切断する 34
3.5.4 Bluetooth デバイスを検出可能にする 34
3.5.5 Bluetooth の追加設定 35
3.6 ロケーション機能を使用する 36
3.6.1 位置情報サービスの有効化/無効化 36
3.6.2 位置モード 36
3.7 カメラを使う 37
3.8 NFC 機能を使用する 39
3.8.1 NFC を有効/無効にする 39
3.8.2 NFC モードの設定 39
3.8.3 NFC 対応機器とのデータ交換 41

適合宣言

CE について

製品の CE シンボルは、それが欧州連合（EU）の指令に準拠していることを示します。 技術サポートに連絡することで、コンプライアンス証明書を入手できます。.

シールドケーブルを外部配線に使用した場合、この製品は環境仕様の CE テストに合格しました。 シールドケーブルの使用をお勧めします。

FCC Class B

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。
これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、
無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ／オンにして調べます）、
次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。
1）受信アンテナの方向や位置を変える
2）装置と受信機の距離を離す
3）受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する
4）ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。
製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、
FCC 規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

ＶＣＣＩの基準に基づくクラス B 情報技術装置について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 （ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

RoHS

AIMEX Corporation は、その製品のすべてのコンポーネントが EU の電気電子機器における有害物質の使用制限（RoHS）指令 2002/95 / EC に準拠していることを保証します。

上記の指令は 2003 年 2 月 13 日に公開されました。 この指令の主な目的は、電気および電子製品における鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル（PBB）、およびポリ臭化ジフェニルエーテル（PBDE）の使用を禁止することです。 EU 加盟国は、2006 年 7 月 1 日までに執行することになっています。
AIMEX Corporation は、ここに記載されている製品に、均質材料ごとに 0.1 重量%の最大濃度値を超える、またはカドミウムが 0.01 重量%を超える、鉛、水銀、六角クロム、PBB または PBDB の意図しない添加を含まないと述べます。 均質材料
「はんだ」、「樹脂」、「メッキ」など、均一な組成の物質または物質の混合物として定義されます。 すべての端子（Sn（96～96.5%）、Ag（3.0～3.5%）および Cu（0.5%））に鉛フリーはんだが使用されています。

SVHC/REACH

環境への影響を最小限に抑え、私たちの住む地球への責任を更に高めるために、AIMEX は本製品が REACH 規則に規定される SVHC(高懸念物質)の制限に準拠していることを確認します。
SVHC にリストされている全ての物質 < 重量 0.1%(1000ppm)

セーフティー・シンボル

この「注意」の記号は、警告表示を無視して使用した場合に、ユーザーが負傷したり、製品が損傷したりする危険性があることを示しています。

バッテリーリサイクル

この記号は電気警告を示しています。

この記号は、レーザ源から人体への安全性が損なわれる可能性があることを示しています。 このマニュアルにこの記号が表示されている場合は、その記号に関連する特定の安全上の注意に特に注意を払ってください。

安全に関する重要注意事項

安全上の注意をよくお読みください。

1. 装置に関するすべての注意と警告を読んでください。
2. 設置するときは、この装置を安定した面に置いてください。 落としたり落下させたりすると破損する恐れがあります。
3. 正しい電圧が機器に接続されていることを確認してください。
4. 差し込み可能な機器の場合は、ソケットのコンセントが機器の近くにあり、簡単にアクセスできるようにする必要があります。
5. 製品を湿気から遠ざけてください。
6. 清掃する際にはこの機器をコンセントから外してください。 湿った布を使用してください。 液体洗剤やスプレー洗剤は使用しないでください。
7. 装置の電源を完全に切るには、電源をコンセントから抜いてください。
8. 硬いもので画面を傷つけたりこすったりしないでください。
9. シンスプレータイプのクリーナー、ワックス、ベンゼン、研磨剤、酸、アルカリなどの溶剤は絶対に使用しないでください。 刺激の強い化学薬品を使用すると、キャビネットやタッチセンサーに損傷を与える可能性があります。

10. 軽く湿らせた布と中性洗剤で汚れを取り除きます。 その後、柔らかい乾いた布でキャビネットを拭きます。

11. エンクロージャの開口部は空気の対流用で、装置を過熱から保護します。 開口部を覆わないでください。

12. 人が踏み込まないように電源コードを置きます。 電源コードの上に物を置かないでください。.

13. 機器を長期間使用しない場合は、一時的な過電圧による損傷を防ぐために、電源から外してください。

14. 開口部には絶対に液体を入れないでください。 火災や感電の原因となります。

15. 装置を絶対に開けないでください。 安全上の理由から、この装置は有資格のサービス技術者のみが開けるべきです。

16. 次のいずれかの状況が発生した場合は、機器をサービス担当者に点検してもらってください。

    a. 電源コードまたはプラグが損傷している場合。

    b. 液体が装置に浸透した場合。

    c. 装置が湿気にさらされている場合。

    d. 機器がうまく機能しない、またはユーザーマニュアルに従って正しく機能させることができない。

    e. 機器が落下したあるいは損傷した場合。

    f. 装置に明らかな破損の兆候があるとき。

17. オペレータの位置での音圧レベルは 70dB（A）以下の場合。(IEC 704-1：1982 による)

18. 後で参照できるように、このユーザーマニュアルを保管してください。

19. 保管温度が下回っている場合は、この機器を管理されていない環境に放置しないでください。
    -20°C（-4°F）または 60°C（140°F）以上。 これは機器を損傷する可能性があります。

機器用に製造されていない電源アダプタを使用しないでください。不適切な電圧を機器に供給すると、バッテリーを損傷したり、最悪の場合、機器を焼損させる可能性があります。

聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間聴かないでください。

レーザーの安全性

レーザー光を使用する装置のバーコードスキャナーはクラス 2 レーザー製品です。 バーコードスキャナーの動作中は、レーザー光線を見つめたり、他の人の目に向けたりしないでください。

充電式バッテリーパックの安全性

ごくわずかな手間で、バッテリー寿命を最適化し、最大化することができます。 最も重要なのは、（1.5 仕様で説明されているように）理想的な動作温度の機器のみを使用することです。夏の間は、高温のトランクの中に放置しないでください。

- **知っておくべき重要用語**
  「バッテリー稼働時間」とは、機器を再充電する必要があるまでに機器が稼働する時間を意味します（これは「プレイタイム」または「ランタイム」とも呼ばれます）。
  「バッテリー寿命」とは、バッテリーを交換しなければならなくなるまでの総時間を意味します。
- **初めて装置を使用する際**

  初めて装置を充電するときは、必ず装置を完全に充電してください（約 4 時間）。
- **長期保管とメンテナンス**

  3 ヶ月以上バッテリーを使用していない場合は、バッテリーは本体から外して保存することをお勧めします

また、保管の際はフル充電し、3 ヶ月毎に再充電してください。充電されていないバッテリーを保管すると、完全に消耗した状態になり、充電できなくなります。 装置とバッテリーは適切な温度で保管してください（1.5 仕様を参照）。

- **バッテリー寿命**

  装置の取り外し可能なバッテリーは、正しくメンテナンスされていれば、300 回の充電と再充電のサイクル後も元の容量の 80%まで保持できるように設計されています。十分に充電ができなくなった場合は、新しいバッテリーを購入してください。

- リチウムイオン電池は現在最も人気のある電池パックの 1 つです。 最大の利点は、メモリ効果がないことです。そのため、ユーザーはこの問題について心配する必要はありません。 バッテリーは、完全に消耗しているかどうかにかかわらず、いつでも充電できます。 ただし、システムに電力不足の警告が表示されるまでユーザーがバッテリーを消耗させてからバッテリーを充電することをお勧めします。 そうすることでバッテリーの寿命を長くすることができます。
- バッテリーパックを他の機器の電源として使用しないでください。
- バッテリーを車の直射日光下や火のそばなどの高温にさらさないでください。
- バッテリーを分解しないでください。バッテリーが液漏れすると、皮膚や目に傷害を負う可能性があります。 電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに流水で洗い流してください。 眼に入った場合は、少なくとも 15 分間きれいな水で洗い流してから、医師の診察を受けてください。
- 電池の液漏れや爆発を防ぐため、電池を水や火の中に捨てたり、ガストーブやオーブンなどの熱源の近くに置かないでください。
  - 3 か月以上バッテリーを使用せず放置している場合は、バッテリーを別々に保管して完全に充電し、3 か月ごとに充電することをお勧めします。 充電されていないバッテリーを保管すると、完全に消耗した状態になり、充電できなくなります。 装置とバッテリーは適切な温度で保管してください（1.5 仕様を参照）。
- 紙箱などの適切な容器を使用してバッテリーを保管してください。 バッテリーの端子に金属製のものを触れさせないでください。
- バッテリーは正確な電気部品とセルで構成されています。 電池を落としたり、ぶつけたりしないでください。

基本的なお手入れ方法

装置の清掃を始める前に、次の注意事項が必要になる場合があります。 デバイスの部品や部品を清掃するときは、以下の詳細をよく読んで理解してください。

1. 単一コンポーネントの清掃を始める前に、システムをシャットダウンすることを強くお勧めします。
2. デバイスを掃除する必要があるときは、乾いた布で拭いてください。
3. 床の汚れを吸い取るために掃除機を使用するときは、取り外しができる細かなな部品に注意してください。
4. デバイス内部に部品を落としたり、回路基板を湿らせたり濡らしたりしないでください。
5. 清掃の際には、使用する清掃用溶剤または化学薬品に注意してください。原料に対するアレルギーのおそれがあります。
6. デバイスの周りに食べ物、飲み物、タバコを置かないでください。

お手入れツール

多くのメーカーにて本製品用クリーニング製品を販売しておりますが、ほかにも家庭用品を使用することもできます。以下は、デバイスや周辺機器を清掃するときに必要になる、または使用したいアイテムのリストです。

- **クロス**: 一枚の布は、コンポーネントをこすり取るときに使用するのに最適なツールです。 ペーパータオルやティッシュペーパーは、ほとんどのハードウェアでも使用できますが、それでも布で拭くことをお勧めします。
- **水または消毒用アルコール**:布の一部を水かアルコールでこすって少し湿らせてから、それを装置の上でこすることができます。それ以外の溶剤はプラスチック部品に有害な場合があります。
- **掃除機**: ほこり、汚れ、髪の毛、タバコの粒子、およびその他の粒子をデバイスから吸収することが、最良のクリーニング方法の 1 つです。 ほこりなどが溜まったまま時間が経つと、これらの物質は装置内の空気の流れを制限し、回路を腐食させる可能性があります。

- **綿棒:** アルコールや水でこすった綿棒は、キーボード、マウス、およびその他の場所に手が届きにくい場所を拭くための優れたツールです。
- **泡綿棒:** 可能であれば、泡綿棒などの糸くずの出ない綿棒を使用することをお勧めします。

推奨クリーニング手順

1. すべてのアプリケーションプログラムを閉じる
2. オペレーティングソフトウェアを閉じる
3. 機器の電源を切る
4. 周辺機器をすべて取り外す
5. 電源ケーブルを外す
6. 手順に従ってクリーニングをしてください

機器の廃棄について

- **EU 内において**

各加盟国で実施されている EU 全域の法律では、マーク（左）を付けた電気製品や電気製品の廃棄物は、通常の家庭ごみとは別に処理する必要があります。

これには、信号ケーブルや電源コードなどのモニターおよび電気付属品が含まれます。 ディスプレイ製品を廃棄する必要がある場合は、地方自治体の指示に従うか、製品を購入した販売店に問い合わせるか、該当する場合は、ご自身との間の合意に従ってください。 電気電子製品のマークは、現在の欧州連合加盟国にのみ適用されます。

- **EU 外において**

使用済みの電気電子製品を EU 以外で廃棄する場合は、地方自治体へ確認し、適切に廃棄してください。

追加情報およびテクニカルサポート

データシート、ユーザーマニュアル、ドライバなどの関連技術資料は、弊社 Web サイトからダウンロードできます。

それでもわからない場合は、当社のカスタマーサービスに電話または E メールでお問い合わせください。

http:// www.aimex.co.jp/support

E-mail: support@aimex.co.jp

保証について

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行ないます。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 需要者側で改造・修理を行った場合
4. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、本製品の運用の結果生じた損失・損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

This page is intentionally left blank.

Chapter 1

Introduction

1.1 製品概要

- 高い堅牢性で倉庫保管/輸送/医療/ モバイルアプリケーションに最適
- MIL-STD-810G および IP65 に準拠。耐落下 1.2m。
- 7.85 インチ TFT カラーLCD 解像度 1024 x 768 HD
- 反射防止 Corning®Gorilla®ガラス付き静電容量式マルチタッチパネル
- WLAN、Bluetooth、WWAN などの複数のコネクタビリティを備えた高い機動力
- 内蔵 2D バーコードイメージャ（オプション）
- 最長 8 時間のバッテリー寿命を実現した交換可能なバッテリー
- G センサー、ジャイロスコープ、光センサー、E コンパス、GPS ナビゲーション＆気圧計
- NFC リーダーによるシステムアクセス制御

1.2 パッケージ内容

開封後は中身をよく確認してください。 不足している、または損傷していると思われるアイテムがある場合は、最寄りの販売店またはディストリビューターに連絡してください。 パッケージには次のものが含まれています。

	7.85 インチの頑丈な Android™ハンドヘルドデバイス
	充電式リチウムイオンバッテリーパック（本体内臓）
	USB ケーブル
	おしらせ

1.3 各部の名称

1	電源ボタン	9	バーコードスキャナートリガーキー(オプション)
2	GPS アンテナ	10	スピーカー
3	ポゴピン	11	バッテリー
4	USB コネクタ	12	カメラフラッシュライト
5	フロントカメラ	13	後方カメラ
6	ライトセンサー	14	NFC
7	タッチパネル	15	音量ボタン
8	マイク	16	SIM / SD カード挿入口

1.4 外形寸法

1.5 仕様

耐久性機能	
MIL-STD-810G および IP65	
1.2M の耐落下	
ヒンジ付きゴム製カバー付きの I / O ポート	
システム	
CPU	MTK MT2635 Cortex-A53 Quad
OS	Android™ 7.0 GMS 準拠
メモリー	3GB LPDDR2
ストレージ	16GB eMMC(32GB:オプション)
オーディオ	内蔵マイク
	内蔵スピーカー(1.5W)
周辺機器およびデバイス	
カメラ	前面：5.0 メガピクセルカメラ
	背面：LED 搭載 13.0 メガピクセル AF カメラ
センサー	加速度（G センサー）
	3 軸デジタルジャイロスコープ
	地磁気(M-Sensor/E-Compass)
NFC	ISO 15693,ISO 14443A,ISO14443B,B',ISO18000-3,NFC Forum Type1-4,Kovio
WLAN	IEEE 802.11 a/b/g/n
Bluetooth	Bluetooth 4.1 (BLE HS compliant)
WWAN	Quectel EC25J
ナビゲーション	GPS,Glonass,QZSS(みちびき),A-GPS,デジタルコンパス
I/O インタフェース	
USB ポート	micro USB 2.0 port x 1
SD スロット	マイクロ SD カードスロット (最大 32GB まで) x 1

SIM スロット	マイクロ SIM(3FF)ソケット x 1
LCD ディスプレイ	
サイズ/タイプ	7.85 インチ TFT LCD
解像度	1024 x 768
タッチスクリーン	
タイプ	5 ポイント静電容量方式タッチスクリーン
	Corning®Gorilla®ガラスコーティング
電源	
電源システム	外部 AC 電源アダプタ
バッテリータイプ	リチウムイオン二次電池
	現場交換可能
バッテリー容量	3.8V, 6200mAh
バッテリー寿命	以下の操作で最大 8 時間のバッテリー寿命 1. 160 Kbps エンコードの MP3 ファイルの連続オーディオ再生 2. Wi-Fi によるインターネット閲覧 a. 20 の別々の Web ページのスナップショットバージョンを閲覧する b. 毎時プッシュメールを使用する
アダプター入力	入力：AC100～240℃、50～60Hz
アダプター出力	DC 電源出力：5V / 2A
機械および環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C
保管温度	-20°C ~ 65°C
動作湿度	5%～95%（非結露）
寸法 (W x H x D)	147 x 220 x 20.9 mm
重量	550g (バッテリー含む)

This page is intentionally left blank.

Chapter 2

Getting Started

2.1 microSD と SIM カードの取り付け

microSD カードや SIM カードを取り付けるには：

2.1.1 microSD カードの取り付け

図 2-1 プラスドライバーでネジを外してカバーを取り外します。

図 2-3 矢印の方向に従って mSD スロットの蓋を開けます。

図 2-4 ふたを開けて SD カードをスロットに挿入します。

図 2-5 ふたを閉めてロックします。

図 2-5 矢印の方向に沿って SIM スロットの蓋を開けます。

図 2-6 ふたを開けて、SIM カードをスロットに挿入します。

図 2-7 ふたを閉めて、ロックします。

2.2 バッテリー交換

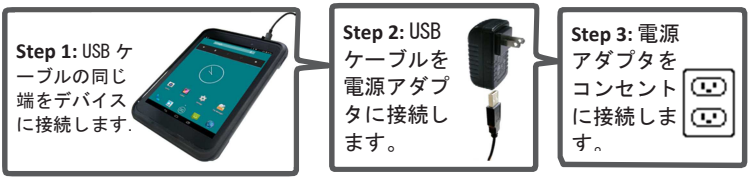
出荷の時、パッケージ到着時にはバッテリーはある程度消耗されています。初めて充電する際には、必ずフル充電をしてください。

注意！ コンピュータの USB から出力される電圧は不十分なため、コンピュータの USB 接続を介して GT78-VJ を充電しないでください。

2.2.1 バッテリー充電

コンセントを使ってバッテリーを充電するには：

1. デバイスに付属の USB ケーブルを使用して、ケーブルの小さい方の端をデバイスの USB ポートに接続します。
2. 次に、USB ケーブルのもう一方の端を電源アダプタに接続します。
3. 電源アダプタをコンセントに接続します。



警告: 指定の電源アダプタのみを使用してください。 別の電源アダプタを使用すると、デバイスが損傷し、パフォーマンスが低下する可能性があります。また製品に適用される保証が無効となる可能性があります。

2.2.2 バッテリー残量を確認する

充電が進行中のときは、充電率を示すバッテリーンジケータがステータスバーに表示されます。 バッテリーが完全に充電されたら、デバイスから USB ケーブルを抜きます。

2.3 バッテリーを入れる／交換する

バッテリーの取り付けや交換が必要な場合は、以下の手順に従って電池蓋を開け、バッテリーを交換してください。

2.3.1 バッテリー蓋の開け方

1. 背面を上に向けて、平らな場所に装置を置きます。 コインでバッテリーカバーの固定ネジを緩めます。

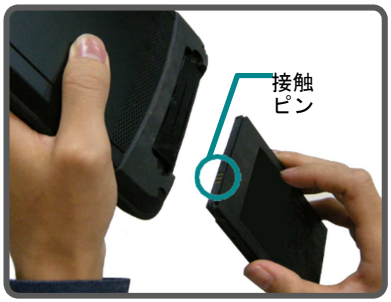
2. 下端のくぼみを持ち上げてバッテリーカバーを取り外します。

3. バッテリーは内部のコンパートメントにあります。開口部は保護蓋で覆われています。 指の先をカバーの上に差し込み、取り外します。

4. 図のようにバッテリーを取り外します。

2.3.2 バッテリーを取り付け

1. バッテリーを取り付けるには、コンタクトピンがコンパートメント開口部の方を向くようにバッテリーを向けます。

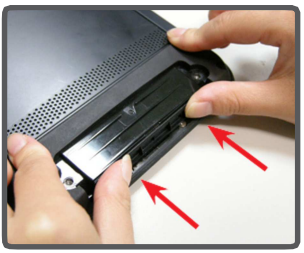


2. バッテリーをバッテリー収納部に入れます。

3. 保護用の蓋を元に戻すには、蓋が右の写真のように向けられていることを確認してください。

4. 蓋の上端を開口部の上端に合わせます。

5. しっかりと固定されるように、蓋を所定の位置にしっかりと押し込みます。



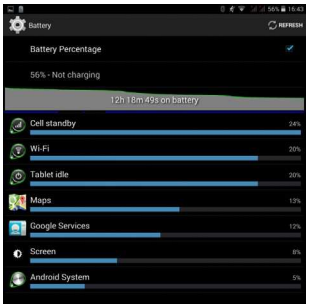
6. バッテリーカバーを取り付け、
   固定ネジをコインで固定します。

2.4 バッテリー寿命の最適化

バッテリーの動作時間を最適化するために、次のことをお勧めします。

- LCD ディスプレイの輝度を下げる。
- 画面がスリープモードに入るように、無活動タイムアウトを短めに設定します。
- 不使用時は、ディスプレイをオフにしてください。
- 不使用時は、必ずアプリケーションを終了してください。
- 不使用時は、Wi-Fi、Bluetooth、または GPS 機能を無効にしてください。
- 不使用時は、バッテリーを大量消耗するアプリを無効にしてください。

  個々のアプリ別にバッテリー使用量を表示するには、右上隅にあるステータスバーを下にスワイプして”CHARGING” をタップします.



- 不使用時は、USB フラッシュドライブなどの USB デバイスを取り外してください。

This page is intentionally left blank.

Chapter 3

Using the Rugged Handheld Device

3.1 タッチスクリーンを使う

GT78-VJ は、静電容量方式マルチタッチスクリーンを搭載しています。 タッチコントロールは GT78-VJ が動作する主な方法です。アイコン、グラフィックボタン、メニュー、画面上のキーボード、または画面上の項目をタッチ操作で操作できます。この章では基本的な操作について説明します。

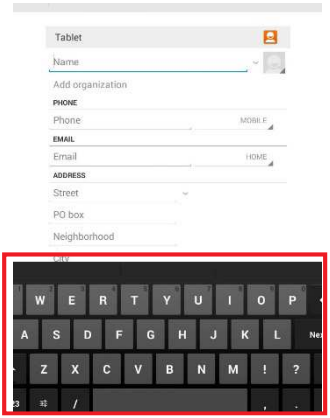
3.1.1 基本操作

以下の表は、マルチタッチスクリーンの使用方法を説明しています。

操作	詳細
タップ	アイテムをタップしてすばやく離すと、アイテムを選択したり、アプリケーションを起動したり、メニューを開いたりできます。
タップ&ホールド (長押し)	メニューが開くかオプションが表示されるまで、画面上のアイテムまたは空白の場所を長押しします。
ドラッグ	画像やアイコンなどのアイテムを長押ししてから、目的の位置に移動します。 ドラッグ中は、目的の位置に達するまで手を放さないでください。
スワイプ	画面上で指を水平または垂直に動かして、画面、アプリメニュー、ページ、リストなどをスクロールします。
ズームイン/ ズームアウト	写真、Web ページ、地図などのアイテム上で 2 本の指を近づけるとズームアウトします。2 本の指を離すとズームインします。
ダブルタップ	一部のアプリケーションでは、ズームインするにはアイテムをすばやく 2 回タップし、ズームアウトするにはもう一度ダブルタップします。

3.1.2 テキスト入力

GT78-VJ には、テキスト入力の際の物理的なキーボードはありません。デバイスにテキストを入力するには、オペレーティングシステムに搭載されている「オンスクリーンキーボード」を使用します。「オンスクリーンキーボード」は、ほとんどの標準キーを備えた仮想キーボードです。
オンスクリーンキーボードを開くには、テキスト入力フィールドをタップするだけでキーボードが表示されます。



3.1.3 スリープモード

デバイスがスリープモードに移行すると、デバイスは低電力状態になり、ディスプレイはバッテリー電力を節約するためにオフになります。 手動でデバイスを強制的にスリープモードにするか、自動的にスリープモードに入るまでの無操作時間を指定できます。 デバイスがスリープモードになっている間も、メッセージや通話を受信したり、ダウンロードなどのタスクを処理したりできます。

スリープモードに切り替えるには、画面が消えるまで電源ボタンを押し続けます。デバイスをスリープモードから復帰させるには、画面が表示されるまで電源ボタンを押し続けます。 画面がロックされている場合は、ロックアイコンを外側の円にスワイプしてデバイスをロック解除します。
無操作時間を指定するには、右上隅にあるステータスバーを下にスワイプして[設定]、[ディスプレイ]、[スリープ]の順にタップし、デバイスがスリープモードに入る前の無操作時間を選択します。

3.2 ホーム画面

ホーム画面では、デバイスのステータス、通知、アプリケーションのショートカット、フォルダ、およびウィジェットにすぐにアクセスできます。アイテムをタップするだけで、関連付けられているアプリケーションを起動できます。 また、ホーム画面に目的の項目を追加したり、ホーム画面を拡張したり、壁紙をカスタマイズして自分のニーズに合わせてカスタマイズしたりすることもできます。

初めて装置の電源を入れると、通常のホーム画面は次のようになります。

以下、一般的なホーム画面のエレメントについての説明です。

エレメント	詳細
通知エリア	通知エリアは、ホーム画面の左上に表示されます。 このエリアには、新しいメッセージ、イベント、アラーム、および進行中のアクティビティが表示されます。 デバイスにインストールしたアプリケーションは、その領域に独自のアイコンまたはメッセージを表示することがあります。通知エリアを下にスワイプすると、通知パネルにアクセスして詳細情報を表示できます。
ステータスバー	ステータスバーはホーム画面右上に表示されます。 時間、電波強度、バッテリーの状態などの情報が表示されます。 デバイスにインストールしたアプリケーションはこの部分に独自のアイコンを表示されます。 ステータスバーを下にスワイプして[クイック設定]パネルにアクセスすると、よく使用される設定や機能にすばやくアクセスできます。
ホーム画面	• アイテムをタップしてそのアイテムを起動します。 • アイコンまたはウィジェットを削除するには、削除バーが画面の上部に表示されるまでそのアイテムを長押し、アイコンを削除バーに移動します。 • 画面の何もないところを長押しすると、ホーム画面をカスタマイズできます。
ウィジェット	アプリケーションのウィジェットです。
アプリランチャー	GT78-VJ にインストールされているすべてのアプリケーションを表示して起動できるランチャーです。
下部ドック	ドックはホーム画面全体に表示されます。一般的に使用されるアプリアイコンをすぐにアクセスできるよう表示されています。 必要に応じてアイコンを変更できます。
戻るボタン	タップすると前の画面に移動します。
ホームボタン	タップするとホーム画面に戻ります。
マルチタスクボタン	現在起動中のメニューやアプリの一覧を表示するボタンです。この一覧からアプリを切り替えて使用することができます。 リストからアプリを削除するには、左右にスワイプします。

3.2.1 クイック設定パネルを使用する

ステータスバーを下にスワイプするとクイック設定パネルが表示され、頻繁に使用される設定や機能にすばやくアクセスすることができます。 機能を有効/無効にしたり、利用可能なオプションを切り替えるには、目的のアイコンをタップします。無効にするとアイコンが暗くなり、有効になると明るくなります。

Wi-Fi、Bluetooth、位置情報、オーディオプロファイルなどの一部の機能では、アイコンを長押しして設定ページに直接アクセスすることもできます。

ステータスバーを下にスワイプしてクイック設定パネルにアクセスします。

一部の機能アイコンでは、次のことができます。

- タップして機能を有効/無効にする
- 長押しして設定ページにすばやくアクセスする

3.2.2 ホーム画面を拡張する

ホーム画面は画面幅を超えて拡張することができ、アプリケーションのショートカットやウィジェットを追加するためのスペースが増やせます。

拡張ホーム画面にアクセスするには、ホーム画面を左右にスワイプします。

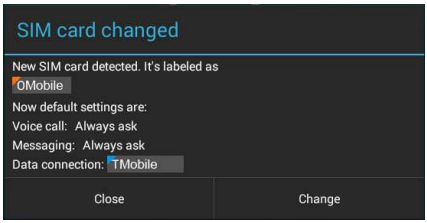
拡張ホーム画面にアプリケーションアイコンまたはウィジェットを追加するには：

1. ホーム画面のアプリランチャーアイコンをタップし、移動したいアプリケーションアイコンまたはウィジェットを見つけます。
2. 拡張ホーム画面が表示されるまで、目的のアイコンまたはウィジェットをタップし長押しします。
3. アイコンまたはウィジェットを目的の画面に移動してから放します。

3.3 携帯電話ネットワークの使用

最初に SIM カードを GT78-VJ に挿入し電源を入れた後、モバイルネットワークの通信事業者によっては、アカウントをアクティブにしてモバイルネットワークに接続するように指示される場合があります。GT78-VJ の電源投入時に SIM カードのロックを解除するための PIN の入力を求められた場合は、携帯電話会社にデフォルトの PIN を問い合わせてください。

新しい SIM カードが検出されると、音声通話、メッセージング、データ接続を含むその使用方法を設定するよう通知が出ます。 今すぐ設定することも、後で設定を変更することもできます。



3.3.1 電話をかける／受ける

SIM カードを有効化し電源を入れると、携帯電話ネットワークに自動接続し、電話サービスを使い始めることができます。

電話の発信や応答などといった電話サービスの利用は、通常の携帯電話の使い方と似ています。

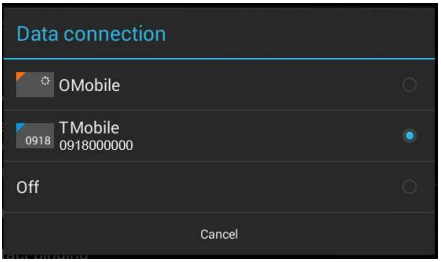
デバイスを電話サービスに使用するには、有線ヘッドセットをデバイスのヘッドセットコネクタに接続するか、ワイヤレスの Bluetooth ヘッドセットを使用することをお勧めします。 Bluetooth デバイスへの接続方法については、詳細 3.5 Bluetooth 機能を使うを参照してください。

3.3.2 データの接続

携帯電話ネットワークに接続すると、音声サービスとデータ接続サービス（インターネット接続など）を使用できるようになります。ただしほとんどの場合、データ接続に Wi-Fi を使用する方が携帯電話ネットワークを使用するよりも高速かつ安価です。Wi-Fi が利用可能な場合は、SIM カードのデータ接続を無効にすることをお勧めします。

データ接続を有効または無効にするには

1. ステータスバーを下にスワイプして[データ接続]をタップします。
2. 該当 SIM カードのデータ接続を有効にするか、[オフ]をタップしてデータ接続を無効にします。

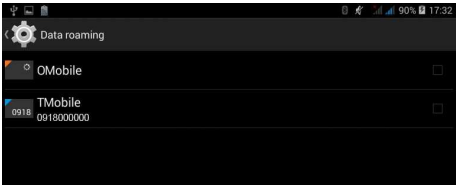


3.3.3 データローミング

本体が携帯電話ネットワークを利用できない場所に移動すると、データローミングは他のサービスプロバイダに接続します。海外でネットワークを使用したい場合に便利です。しかしその場合、インターネットにアクセスする際のコストが特に高くなり、モバイル料金がとりわけ増額する可能性があります。 その場合は、SIM カードのデータローミング機能を無効にするのがよいでしょう。

データローミングを有効/無効にする場合：

1. ステータスバーを下にスワイプして[設定]、[無線とネットワーク]、[モバイルネットワーク設定]、の順にタップします。



2. [データローミング]のチェックボックスをオンまたはオフにしてデータローミングを有効または無効にします。

データローミングが無効になっている間も、Wi-Fi 接続を使用してインターネットデータにアクセスできます。 詳しくは 3.4 Wi-Fi 機能を使うを参照してください。.

3.4 Wi-Fi 機能を使う

GT78-VJ は Wi-Fi ネットワーキングに対応しています。Wi-Fi は、「ホットスポット」というアクセスポイントを使用して、無線ローカルエリアネットワーク（WLAN）を介してインターネットサービスプロバイダに接続する無線ネットワーキング技術のことをいいます。接続を認証するためにパスワードキーを入力するよう要求するタイプのほか、誰でも接続できるようオープンにしているホットスポットもあります。ホットスポットに接続するには、これらパスワードキーを含めて本体を設定する必要があります。

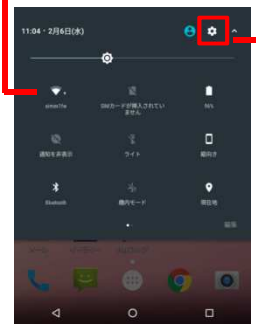
以下のとおり本体をワイヤレス LAN に接続してください。

注意：バッテリー寿命を延ばすため、不使用時は Wi-Fi をオフにします。

ステータスバーには、Wi-Fi の状態を示す次のアイコンが表示されます。

アイコン	詳細
	公共 Wi-Fi ネットワークが通信圏内にあることを通知します。
	Wi-Fi ネットワークが接続されていることを通知します。 波は電波強度を示します。

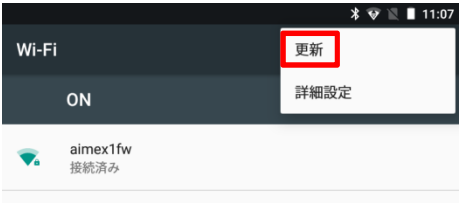
3.4.1 Wi-Fi を有効にして WLAN に接続する



1. ステータスバーを下にスワイプして Wi-Fi マークをタップし、有効にします。

2. クイック設定パネルで、Wi-Fi アイコンを長押しして Wi-Fi 設定ページにアクセスします。

一定の範囲内で利用可能な Wi-Fi ネットワークが見つかると、名前が表示されます。 セキュリティで保護されたネットワークは電波強度を示す波と のロック表示しますが、オープンネットワークにはその表示はありません。利用可能な Wi-Fi ネットワークを再スキャンするには、右上隅にあるメニュー ⋮ をタップしてコンテキストメニューを開き、次に更新をタップします。



ネットワークをタップして接続します。 セキュリティで保護されたネットワークに接続するには、パスワードまたはその他証明情報を入力するように求められます。 （詳細についてはネットワーク管理者にご確認ください。）
以前に接続されたネットワークを検出すると、そこに自動接続します。 Wi-Fi ネットワークが接続されると、Wi-Fi 設定画面に「接続済み」と表示されます。 速度、セキュリティ、アドレス、および関連情報に関する詳細を表示するには、そこをタップします。

3.4.2 Wi-Fi ネットワークを追加する

次のような場合は、Wi-Fi ネットワークを手動で追加する必要があります。

- Wi-Fi ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合

- Wi-Fi ネットワークが圏外にあり、圏内に入った際にすぐに本体に記憶させた Wi-Fi ネットワークへ自動接続するようにしたい場合。

Wi-Fi ネットワークを追加するには：

1. ステータスバーを下にスワイプして Wi-Fi マークをタップし、まだ有効になっていない場合は有効にします。
2. クイック設定パネルで、Wi-Fi アイコンを長押しして Wi-Fi 設定ページにアクセスします。
3. 表示されている SSID の最下部に表示されている[ネットワークを追加]をタップしダイアログボックスを開きます。

4. ネットワークの SSID（名前）を入力してください。 ネットワークが保護されている場合は、[セキュリティ]フィールドの右側にある三角形をタップしてネットワークに展開されているセキュリティの種類を選択し、必要なセキュリティ認証情報を入力します。
5. [保存]をタップします。

その後 Wi-Fi ネットワークへ接続されます。 入力した認証情報はすべて保存されるため、次回本体がその範囲内に入った時に自動的に接続されます。

3.4.3 WPS で Wi-Fi ネットワークに接続する

Wi-Fi Protected Setup（WPS）は、WPS 準拠のデバイスが安全な方法で瞬時に相互に接続できるようにする機能です。 WPS デバイスは自動的に SSID と WPA セキュリティキーを設定するので、手動で SSID とパスワードを入力する手間が省けます。 WPS はプッシュまたは個人識別番号（PIN）の 2 つの方法で機能します。 WPS 経由で Wi-Fi ネットワークに接続するには、

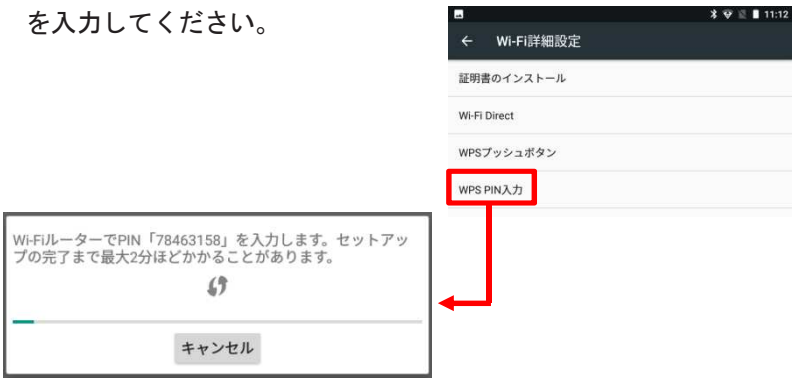
1. ステータスバーを下にスワイプして Wi-Fi アイコンをタップし有効にします。

2. クイック設定パネルで、Wi-Fi アイコンを長押しして Wi-Fi 設定ページにアクセスします。

3. 次の方法のいずれかを使用して接続します。

   プッシュボタンを使用するには、Wi-Fi 詳細設定内の[WPS プッシュボタン]をタップするとプロンプトメッセージが表示されます。2 分以内に WPS ルーターの WPS ボタンを押してください。

   PIN 方式を使用するには、Wi-Fi 詳細設定内の[WPS プッシュボタン]をタップします。PIN の入力を求められますので、2 分以内に Wi-Fi ルーターに PIN を入力してください。



4. WPS 認証プロセスが始まり、接続成功のメッセージが表示されたら、認証完了です。

3.4.4 Wi-Fi ネットワークを削除する

GT78-VJ を Wi-Fi ネットワークに自動接続したくない場合、または使用しなくなったネットワークである場合は、次の手順で Wi-Fi ネットワークを削除します。

1. ステータスバーを下にスワイプして Wi-Fi アイコンをタップし有効にします。
2. クイック設定パネルで、Wi-Fi アイコンを長押しして Wi-Fi 設定ページにアクセスします。
3. Wi-Fi 設定画面で、解除したいネットワーク名をタップすると、コンテキストメニューが開きます。
4. [削除]をタップします。

3.4.5 本体を Wi-Fi ホットスポットにする（テザリング）

GT78-VJ が 3G/4G ネットワークに接続されている場合、本製品を Wi-Fi ホットスポットにすることで、ラップトップまたは他のデバイスとの接続を共有できます。 手順は以下のとおりです。

1. ステータスバーを下にスワイプして[設定]、[無線とネットワーク]、 [テザリングとポータブルアクセスポイント]
2. ホットスポット機能を有効にするには、[Wi-Fi アクセスポイント]をタップして、スライダをタップします。
3. 必要に応じて[Wi-Fi アクセスポイントをセットアップ]をタップして設定を行います。
   - **ネットワーク名**：本製品無線ネットワークを識別するための名前を入力する。
   - **セキュリティとパスワード**： 不正なユーザーによるデアクセスを防ぐため、ネットワークを保護するためのパスワードを設定することを強くお勧めします。

Wi-Fi ホットスポットが有効になっていると、Wi-Fi ホットスポットアイコンが通知領域に表示されます。 アイコンを下にスワイプすると、接続情報を見ることができます。

3.5 Bluetooth 機能を使う

Bluetooth は、８m 程の距離にわたる無線接続が可能になります。 これは「ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク」（WPAN）として指定されています。本製品は、PC、ラップトップ、ハンズフリー、ヘッドセット、プリンタ、PDA、携帯電話などの他の Bluetooth 対応デバイスとデータを同期させることができます。

Bluetooth 機器を接続する際は、事前にその機器とペアリングする必要があります。ここでいう「ペアリング」は、双方のアクセス認証が必要となります。接続されると、一方のデバイスの接続が切れない限り接続されたままになります。

ステータスバーには、Bluetooth の状態を示す次のアイコンが表示されます。

アイコン	詳細
	Bluetooth がオンになっています。
	Bluetooth デバイスに接続されています。

3.5.1 Bluetooth を有効にして Bluetooth デバイスとペアリングする

Bluetooth 機能を有効または無効にするには：

1. Bluetooth がまだ有効になっていない場合は、ステータスバーを下にスワイプして Bluetooth アイコンをタップします。

2. クイック設定パネルで、Bluetooth を長押しして Bluetooth 設定ページにアクセスします。

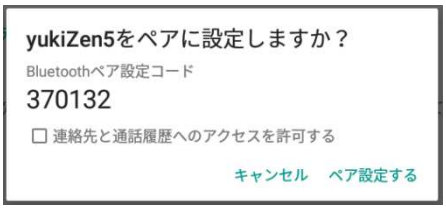
3. ペアリングしたい Bluetooth デバイスが接続可能デバイスリストに表示されていない場合は、右上隅にあるメニュー ⋮ をタップして、コンテキストメニューを開き、更新をタップします。

範囲内の Bluetooth デバイスをスキャン後、検出されたデバイスの名前が表示されます。

他のデバイスが検出可能になる前に本体がスキャンを停止した場合は、更新をもう一度タップします。

備考：ペアリングするデバイスが検出されない場合は、接続先デバイスが検出可能に設定されているかどうかを確認してください。

4. ペアリングしたい機器をタップします。 Bluetooth ペアリング要求ダイアログボックスが表示されたら、[ペア設定する]をタップします。本体がペアリングしたい機器へ接続要求を送信します。



ペアリングするデバイス上に、ペアリングコードの入力または確認を要求するダイアログボックスが表示されます。本体上で入力/表示されたパスキーを接続先の Bluetooth デバイスへ入力してください。
PIN コードの入力を求められた場合は、0000 または 1234（最も一般的な PIN コード）を入力するか、他の Bluetooh デバイスに付属のマニュアルを参照してその PIN コードを確認してください。
その後、ペアリング完了となります。

3.5.2 使用する Bluetooth 機能の設定

「Bluetooth プロファイル」は、Bluetooth デバイスがサポートする機能を指します。2 つの Bluetooth デバイスが互いにファイルを共有するには、両方が正しいプロファイルをサポートしている必要があります。一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルがあります。プロファイルは、電話での会話を送信したり、ステレオで音楽を再生したり、ファイルや他のデータを転送したりする機能を提供します。オペレーティングシステムでは、本製品で使用したいプロファイルを設定できます。

1. Bluetooth がまだ有効になっていない場合は、ステータスバーを下にスワイプして Bluetooth アイコンをタップします。
2. クイック設定パネルで、Bluetooth アイコンを長押しして Bluetooth 設定ページにアクセスします。
3. ペアリングされたデバイスの右側にある⚙アイコンをタップします。
そのペアリングされたデバイスの[ペアリングされたデバイス]ページが開きます。

4. 使用目的を選択または解除します。

3.5.3 Bluetooth デバイスから切断する

本体を Bluetooth デバイスから切断するには：

1. ステータスバーを下にスワイプします。 クイック設定パネルで、Bluetooth アイコンを長押しして Bluetooth 設定ページにアクセスします。
2. ペアリングデバイスリストで、切断するデバイスを見つけます。.
3. デバイスの右側にある⚙アイコンをタップします。
   ペアリングされたデバイスの[ペアリングされた Bluetooth デバイス]ページが開きます。
4. 解除をタップし、接続解除となります。

3.5.4 Bluetooth デバイスを検出可能にする

他の Bluetooth 対応機器から本製品を検出可能にするには、Bluetooth 機能を有効にした上で、他デバイスへ表示されるかどうかを確認する必要があります。

近くの Bluetooth 機器から見えるようにするには：

1. ステータスバーを下にスワイプし、Bluetooth アイコンをタップして Bluetooth を有効にします。
2. [設定]、[ワイヤレスネットワーク]、[Bluetooth]の順にタップし、Bluetooth 設定ページにアクセスします。
3. Bluetooth 設定ページを表示している間は、本製品は付近のデバイスに表示されます。

3.5.5 Bluetooth の追加設定

Bluetooth 設定ページからメニューアイコンをタップすると、コンテキストメニューが開き、以下のオプションが表示されます。

1. **更新**：付近の他の Bluetooth デバイスを再検索します。
2. **この端末の名前を変更**：他のユーザーが検索しようとしたときに表示される GT78-VJ の Bluetooth 名を編集できます。初期値は「ANDROID BT」となっています。
3. **受信済みファイルを表示**：ダウンロードおよびアップロードされた Bluetooth ファイルが保存されている場所を開きます。

3.6 ロケーション機能を使用する

本製品は位置を識別するための測位機能があります。位置情報を集め、関連アプリへ位置情報サービスを提供することができます。たとえば、交通渋滞の際に関連アプリが車両の位置を特定することでより効率的なルートを提供することが可能になります。サービス使用中に位置情報サービスへのアクセスを許可するかどうかを個別に設定できます。

注意：位置情報サービスをオフにすると、該当アプリもオフになります。すなわち、位置情報サービスは停止し利用できなくなります。

3.6.1 位置情報サービスの有効化/無効化

位置情報サービスをオンまたはオフにするには、ステータスバーを下にスワイプしてクイック設定パネルを表示し、現在地アイコンをタップしてオンまたはオフにします。

3.6.2 位置モード

衛星 GPS に加えて、本製品はスタートアップ GPS を高速化するために Wi-Fi と携帯ネットワークを使用する方法で Assisted GPS（A-GPS）も使用できます。 位置モードにより、電池の消耗や位置精度が変わります。

位置情報サービスがオンになっているときに位置情報モードを選択するには、

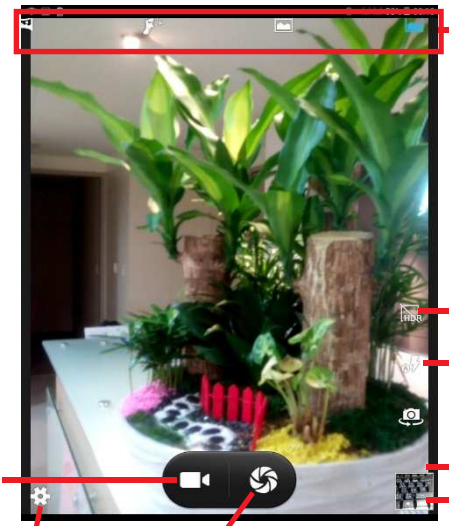
1. ステータスバーを下にスワイプして現在地アイコンをタップし、位置情報サービスを有効にします。
2. クイック設定パネルで、現在地アイコンを長押しして位置設定ページにアクセスします。
3. モードをタップしてモードを選択します。
   - **高精度**：このモードでは、GPS、Wi-Fi、携帯電話ネットワークを使用して場所を特定します。電池をより早く消耗しますが、他の 2 つのモードと比較してより高い精度期待できます。 正確な位置が重要な場合はこのモードを選択してください。

- **バッテリー節約**：このモードでは、Wi-Fi と携帯電話ネットワークを使用して現在地を特定します。 電池寿命を延ばす必要がある場合は、このモードを選択してください。
- **端末のみ**：このモードは GPS のみを使用してあなたの場所を特定します。 起動プロセスを改善するために Wi-Fi および携帯電話ネットワークを使用しないと、場所の特定に時間がかかります。

3.7 カメラを使う

この装置は、前面カメラと LED フラッシュ付き背面カメラの 2 台のカメラを装備しています。 オペレーションシステムに付属のネイティブカメラアプリケーションを使用して、フロントカメラとリアカメラを切り替えたり、その他のカメラ操作ができます。

カメラアプリケーションにアクセスするには、ホームスクリーンでカメラアイコンをタップします。
カメラアプリケーションが開きます。



写真を撮るとき：

- ズームインおよびズームアウトするには、2 本の指を離してまたは一緒に動かします。
- 被写体を画面に収めると、カメラはフォーカスインジケーター付きの画面中央にオートフォーカスします。 手動で焦点を合わせるには、焦点を合わせたいターゲットまたは領域をタップします。
- 写真を撮るには、シャッターアイコンを押します。

ビデオを録画するとき：

- マイクを有効/無効にするには、設定アイコンをタップしてからビデオアイコンをタップします。
- 録音を開始するには、レコーダーアイコンをタップするとタイマーがスタートします。
- 録音を停止するには、もう一度録音アイコンをタップします。

3.8 NFC 機能を使用する

NFC は、NFC 対応デバイスが 4 センチメートル未満の短距離で連絡先、写真、音楽、または Web アドレスなどのデータを交換できるようにする短距離無線通信技術です。

NFC 検出エリアは本体裏側にあります。 他の NFC デバイス、タグ、またはリーダーをタップすると、両方のデバイスの NFC 領域が近づくと接続が確立されます。

3.8.1 NFC を有効/無効にする

NFC 機能を有効または無効にするには：

1. ステータスバーを下にスワイプして[設定]、[無線とネットワーク]、[NFC]の順にタップします。
2. NFC スライダをタップしてオンまたはオフにします。

3. NFC が有効になると、アイコン が通知に表示されます。

3.8.2 NFC モードの設定

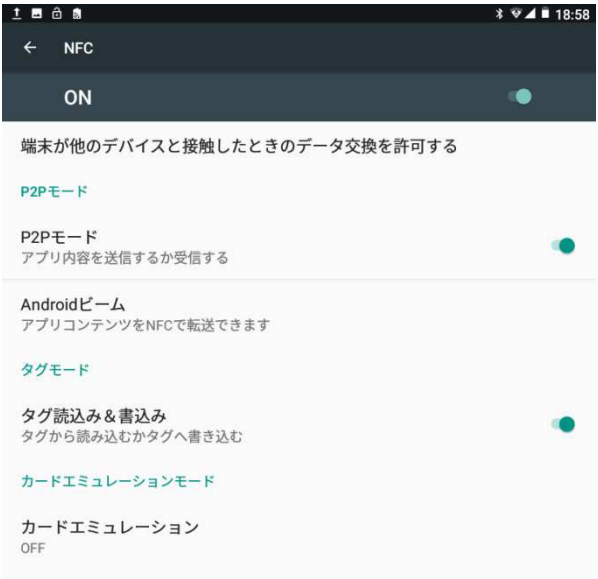
本製品は P2P モード、タグモード、カードエミュレーションモードの 3 つの NFC モードをサポートします。

NFC を設定するには：

1. ステータスバーを下にスワイプして[設定]、[無線とネットワーク]、[NFC]の順にタップします。

2. 必要に応じてモードを有効にします。

- **P2P:** ピアツーピアモードは、アプリが Android ビーム機能をサポートしている時、Android Beam 機能を利用して連絡先、写真、音楽、または Web アドレスなどの App コンテンツを交換します。 このモードを使用してデータを交換するには、3.8.3 NFC 対応機器とのデータ交換を参照してください。
- **タグリーダー/ライター**：本体に NFC タグの読み書きを許可します。読み書きアプリケーションは NFC タグのアプリに依存されます。
- **カードエミュレーション**： このモードでは、本体ひとつで支払い、発券、アクセス管理などのアプリケーションで非接触型カードとして機能します。 このモードは携帯電話会社によって異なりますので、デフォルトでは無効になっています。この機能を使用するにはサービスを購入し、専用アプリも必要になります。



3.8.3 NFC 対応機器とのデータ交換

NFC を使用してアプリのコンテンツを交換するには、送信側と受信側の両方のデバイスが NFC 対応でロック解除されている必要があります。本体から別の NFC デバイスに App コンテンツを送信する方法は以下のとおりです。

1. 両方のデバイスが NFC 対応であることを確認してください。 GT78-VJ の場合は、3.8.1 NFC を有効/無効にするに従って NFC を有効にします。
2. 本体の NFC 設定ページにアクセスし、P2P モードチェックボックスがチェックされていることを確認してください。
3. 交換したいコンテンツを開きます。
4. 両方のデバイスの画面のロックが解除されていることを確認してから、デバイスの背面同士を合わせます。
5. 通知音とともに「タップしてビーム」というメッセージが表示されます。 本体の画面をタッチしてビーム照射プロセスを開始します。
6. コンテンツが接続先デバイスの画面に表示されます。